

視察ルポ

救急医療対策事業 などを視察

《厚生委員会》



鎌倉市を視察する厚生委員会

五月十四日から十六日にかけて練馬区の健康づくり推進事業について、神奈川県・茅ヶ崎市及び鎌倉市の勤労者福祉サービスセンターについて、大和市の精神障害者福祉について、先進的取り組み

を行政視察した。委員会で執行部へ要点報告も行い、情報の共有化も図った。練馬区では「健康こそ福祉の原点」「より良く充実した人生を生きたるために」という考えから健康づくり推進計画を立て、幅広い事業が実施されていた。特に福祉サービスと健康との一元化のため、縦割り行政は正への取り組みは当市でも必要であると思つた。茅ヶ崎市・鎌倉市での救急医療対策事業は、補助金支出について出された住民監査請求に対し、違法性はないが公平性を図る必要があるとの考えから、輪番制補助金制度を廃止したり、単独医療機関との委託契約を結ぶなどしている。当市でも同様の問題が生じているので参考になった。勤労者福祉サービスセンターは、中小企業に勤める勤労者の福利厚生を企業に代わり、低い負担で充実させるものとして定着し喜ばれている制度であった。勤労者が多い当市でも課題となっている。大和市での精神障害者福祉については、家族会が運営する地域作業所「あゆみの家」を訪問し、偏見のない社会をつくりたいという熱意と二十年来にわたる実績と事業内容など、貴重な話を聞いた。ここの作業所のようにみんなの明るい笑い声がひびく作業所の必要性を痛感した。



新潟県加茂駅前視察する建設委員会

公園都市構想 などを視察

《建設委員会》

五月十五日から十七日までの日程で、山形県酒田市と新潟県加茂市・十日町市での行政視察を行いました。

酒田市では「公園都市構想」について研修しました。公園都市構想は、「その街に住んでいることに誇りを感じる街をつくるため市全体を公園のように『より美しく』『よりきれいに』『より快適に』しよう」とするものです。構想は多岐にわたるもので実現のための機構をどう充実するかが課題となっています。加茂市では、駅前区画整理事業と商店街近代化事業について研修しました。加茂市の人口は三万人強ですが駅前商店街の大きさに驚かされました。市独自で五百㎡以上の大型店の出店を規制するなど住民参加を基本に駅利用者の利便と既存商店街の育成が計られ大変有意義な研修でした。十日町市では、街路事業について研修しました。十日町市は人口四万人規模の市では全国一の豪雪地で、雪を「負」としてとらえるのではなく、「克雪」の立場で住民を基本に街づくりが進められています。「どんな街をつくるのか」計画の段階から、住民参加が実行され街路や街路に面する宅地に、美しい花々が、その美しさを競うかのように住民の手で育てられています。今回の視察では、住民参加で事業に取り組みれば不利な条件でも住民の知恵と力で住み良い街が立派に作れることを学びました。

編集後記

今年からエコオフィスの実施が六月からとなりましたが、議会中は、さわやかな風が吹き、まるで高原にいるような日々が続きました。

議会が終了して、本格的な梅雨になりました。水害の心配をしながら、この議会報の準備をしています。

議会では、市民のみなさんに議会に関心を持っていただくための様々な取り組みを行っています。議会報に対し、市民のみなさんのご意見をたまわり、より良い議会報をつくりたいと考えています。

(村山)

- 議会報編集特別委員会
- 委員長 藤井俊雄
- 副委員長 岩切幹嘉
- 委員 村山正美
- 委員 塚本良治

次の定例会は
9月4日(水)に
開会の予定です

傍聴等の問い合わせは、
議会事務局
(584-1113)まで